

瓦版

かななべ未来会議

みんなで、神辺エリアの未来について考えるワークショップを開催しました。神辺駅のまわりを、もっと住みやすい場所にするためのアイデアを話し合ったり、楽しく暮らせる未来について話し合っています。

【ワークショップ】かななべ未来会議・第一回レポート 神辺の未来をともに描くワークショップ開催！

第一回
WS開催日
2024.9.8
(sun)
@Café anjin

神辺の未来を考えるワークショップ「かななべ未来会議」の第一回を開催しました。

江戸時代、宿場町として栄えた福山市神辺町。神辺駅を基点として、東側は神辺城址や神辺本陣、国特別史跡の廉塾ならびに菅茶山旧宅など、歴史的にも貴重な文化財が残り保存活動も活発です。

一方で、西側には国道沿いに大型のショッピングモールやロードサイド型店舗が立ち並び、加えて市が進める基盤整備により、区画整理事業や大きな道路をつくる工事が進められています。※①

この二面性を合わせ持った神辺エリアを、今後どのように盛り上げていくか。「神辺らしさ」とはなんなのか。それらをみんなで考えよう、というのが「かななべ未来会議」の目的です。全三回のワークショップを通して、最後は「かななべの未来図」をイラストで描きます。

「かななべ未来会議」の第一回ワークショップ会場は古民家をリノベーションしたCafé anjin(カフェアンジン)さん。まだまだ残暑厳しい中、神辺で事業をされている企業やNPOの方、大学生、一般の方など、約三十名もの方に参加いただきました。会は、福山市神辺支所の神田支所長の「神辺の未来をともに描いて欲しい」との熱いメッセージでスタート。参加者の多さからも、神辺エリアの方々の地域に対する想いが伺えました。



△吉野山公園から神辺を臨む



△国特別史跡「廉塾ならびに菅茶山旧宅」



△神辺駅と国道182号をつなぐ大きな道路が開通予定※①



△第一回の会場はCafé anjinさんをお借りしました

1.開演ワークシート 日時： 月 日 時～時
まわりの未来の自己紹介を考えてみる
「現状」と「空想」の2種類のワークシートを記載ください。2.開演のワークショップの際には、記載いただいたシートの発表から始めるためこちらのシートを持参ください。特には、できるだけ具体的な言葉を記載ください。
(抽象的な内容だとビジョンイラストに反映できる要素が見つからないためです。)

名前：
所属：

現状

神辺は、
な(場所)・(もの)・(人)がある/いるのが自慢です。

まちには、があるので、

(しながら過ごす)・(を営む)・(を目的に訪れる)のがオススメです。

△ワークショップでは、ワークシートを活用して参加者のみなさんと神辺のまちの魅力を共有しました

一回目の今回は、参加者同士がまずお互いを知るためのワークと、各参加者から見た神辺の現状を共有するワーク。三グループに分かれて、各自ワークシートに書き込み、発表という流れで、各ワークに取り組んでいただきました。
すでにお知り合いの方々もおられましたが、ワークショップ、という場に、初めは少し緊張感漂う雰囲気。ですが、発表しているうちにだんだんと表情も柔らかくなりました。学生や「最近神辺にきたばかりで」という方々もそれぞれの「想い」を語る中で、だんだんと参加者同士の輪のようなものが生まれているように感じました。



神辺の現状については、歴史や文化があること、自然があること、コミュニティがあり子育てに良い場所であること、ゆっくりできる雰囲気、などの声が多く聞かれました。
最後に、各グループからひとりずつ本日の感想をいただきました。少し抜粋してご紹介します。
・これまで繋がりのない方々と話せて刺激をもらえた。いい未来図が作れば。
・子育てによいまち。自分ができることを活かせば。
・意外と神辺のことを知らないことに気づいた。これからもっと関わっていければ。
さて、第二回は、この現状を踏まえた上で「今後どういうことをしていきたいか?」その種を広げていくワークを用意しています。次回の瓦版もお楽しみに。また、神辺地域振興課発行の学習情報紙「ゆうひ」で意見も募集しています。関わってみたいと思っっている方もぜひ、お問い合わせください。